木更津港の概要

木更津港は江戸時代より、木更津と江戸日本橋とを結ぶ海運の要として栄えてきた歴史ある港です。

東京湾の東岸のほぼ中央に位置し、木更津市、君津市及び富津市の3市にまたがり、海岸延長は約 28km、港湾区域面積は約 7,300ha に及んでいます。

昭和 43 年4月に重要港湾の指定を受け、横浜港・川崎港・東京港・千葉港と並んで首都圏の発展に寄与してきました。

また、京葉臨海工業地帯の一翼を担う工業港として、重点整備が進められ臨海部に立地する鉄鋼業などに関連した外貿貨物や、砂・砂利等の内貿貨物が中心に取り扱われ、これまで、東京国際空港（羽田空港）拡張整備事業など東京湾内の大規模なプロジェクトに貢献してきました。

近年では、海外向けの中古自動車や中古建機等、取扱貨物の多様化が進み、既存の物流岸壁を活用したクルーズ船の誘致活動が推進されるなど、千葉県南部地域における経済社会の基盤として重要な役割を果たしています。

株式会社JERA　富津火力発電所

●最大出力：516 万 KW
●LNG 貯蔵能力：136 万 KL

木更津港富津地区に立地している。

火力発電所としては、世界でも最大級の火力発電所である。

日本製鉄株式会社　東日本製鉄所　君津地区

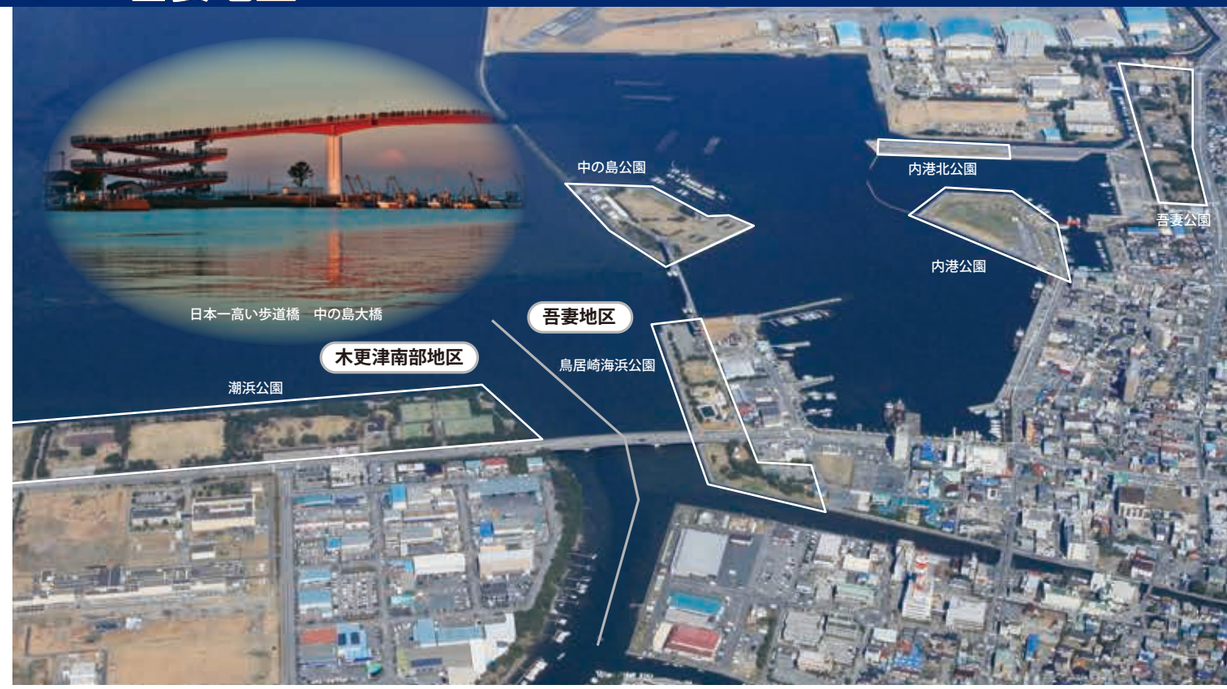
●粗鋼生産量：
662.9 万トン／年
（令和 5 年度実績）

木更津港君津地区に立地している。

世界最大級の高炉設備を有し、日本の鉄鋼生産の一翼を担い続けている。

特色を持った各地区

吾妻地区 ～賑わいと親水ゾーン～



吾妻地区は、木更津港発祥の地で木更津市の海の玄関口であり、中心市街地に隣接する立地条件を活かした地域住民の憩いの場として、緑地を中心としたレクリエーション施設・旅客船埠頭施設・物揚場等の施設整備が計画されています。

吾妻地区にある内港公園は、中心市街地に接する臨海広場で、「みなとオアシス木更津」を構成する施設の 1 つでもあり、イベント時の交流スペースとして活用されています。

みなとオアシスとは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して、住民参加型の継続的な地域振興に関わる取組みが行われる交流拠点のことです。「みなとオアシス木更津」は、平成 20 年に首都圏初となるみなとオアシスの認定を受けました。

木更津港内港で毎年行われる“木更津港まつり”は多くの見物客で賑わいます。

木更津港まつり花火大会

江川地区 ～漁業生産ゾーン～

江川海岸は木更津港の最も北寄りに位置した地区であり、全面に広がる浅場・干潟を利用した海苔・あさりの漁業生産基地です。

千葉県では、船の安全な航行の確保を図るべく、航路の維持浚渫等を実施しています。

上空から見る江川地区

潮干狩りの様子